

茨城県立中央病院原子力災害避難計画

平成 30 年 10 月

茨城県立中央病院

目 次

第1 総則	
(目的)	1
(施設管理者の役割)	1
第2 平常時の対応	
(災害対策組織の計画)	1
(緊急連絡体制等の整理)	1
(原子力防災教育)	1
(避難場所、避難経路、避難手段および避難方法)	2
(備蓄および点検)	2
第3 災害時の対応	
(災害対策組織の設置)	2
(本部長及び副本部長の責務)	2
(情報の伝達および支援要請)	2
(施設の安全管理)	2
(応急物資の確保)	3
(屋内避難)	3
(避難先病院との調整)	3
(避難準備)	3
(避難)	3
(避難先病院における医療支援等)	4
(患者への医療の維持)	4
別表1 原子力災害対策対応組織	5
原子力災害対策対応組織図	8
別表2 緊急連絡先	9
別表3 避難先病院、避難手段、避難経路	12
別表4 備蓄品リスト	19
別表5-1 避難手順	28
別表5-2 退院可能な入院患者の家族引継方法	32
別表5-3 少人数体制時の初動対応	34
時間別の状況想定	38
【様式】	
職員参集記録票	41
搬送時本人確認カード	42

茨城県立中央病院原子力災害避難計画

第1 総則

(目的)

1 この計画は、茨城県地域防災計画（原子力災害対策編）に基づき、東海第二発電所（以下「原子力発電所」）の事故による原子力災害が発生した場合の茨城県立中央病院の対応について必要な事項を定め、入院患者等が迅速かつ的確な避難を行うことを目的とする。

(施設管理者等の役割)

- 2 (1) 施設管理者は、本計画に基づき職員を指揮し、原子力災害対策を総合的に推進するために必要な措置を講ずるものとする。
- (2) 職員は、施設管理者の指示のもと、入院患者等の人命の確保のため、本計画に基づき、必要な措置を講ずるものとする。
- (3) 入院患者は、原子力災害から身を守るため、施設管理者及び職員の指示に従うものとする。

第2 平常時の対応

(災害対応組織の計画)

- 3 施設管理者は、原子力災害に適切に対応するために必要な災害対応組織を別表1のとおり定めるものとする。

(緊急連絡体制等の整理)

- 4 (1) 施設管理者は、原子力災害に備え、緊急時における情報伝達の手段および方法を定めておくほか、職員の原子力災害時緊急連絡網、招集・参集方法および入院患者家族への連絡手段を構築しておくものとする。
- (2) 原子力災害時緊急連絡体制及び職員招集・参集方法は、緊急連絡先一覧（別表2）のとおりとする。

(原子力防災教育)

- 5 施設管理者は、原子力災害時において適切な行動がとれるようにするため、原子力災害についての職員の理解と関心を高める原子力防災教育を行うとともに、避難等の防護措置の円滑な遂行を図るため、原子力災害避難訓練等を実施する。

(避難場所、避難経路、避難手段および避難方法)

6 施設管理者は、原子力災害時において入院患者および職員を避難させる場合に備え、避難先病院、避難手段および避難経路を別表3のとおり定める。

(備蓄および点検)

7 (1) 施設管理者は、食糧、飲料水・医薬品等の備蓄、入院患者の移送に必要な資機材、非常用自家発電機等の整備を行うとともに、定期的に点検を行うものとする。

(2) 備蓄物資の種類および数量は、別表4のとおりとする。

第3 災害時の対応

(災害対応組織の設置)

8 施設管理者は、国、県、市町村等から、原子力発電所で重大なトラブルが発生したという情報を入手した場合には、施設内に施設管理者を本部長とする災害対策本部を設置する。

(本部長及び副本部長の責務)

9 (1) 本部長は、避難実施責任者として、原子力災害応急対策全般について、一切の指揮を行うものとする。

(2) 副本部長は、本部長を補佐し、避難状況を取りまとめ、本部長に事故があるときはその職務を行う。

(情報の伝達および支援要請)

10 (1) 原子力災害等に関する情報を収集した者は、速やかに総務班に報告しなければならない。

(2) 総務班は、原子力災害等の情報を収集した場合は、直ちに本部長に報告するとともに、緊急連絡先一覧をもとに、県保健福祉部や市（町村）の災害対策本部等と連絡を取り、正確な情報の収集と避難誘導等の応援要請を行う。

(3) 総務班は、本部長の指示のもとに、職員に必要な情報を伝達するとともに、緊急連絡先一覧（別表2）により、非番職員に本部長の指示等を連絡する。

(施設の安全確認)

11 ライフライン班は、原子力災害等が発生した場合は、施設及び危険物の安全確認、消防用設備の配備を行うとともに、屋内退避および避難に備えた措置等を講じるものとする。

(応急物資の確保)

12 物品調達班は、原子力災害等が発生した場合は、食糧、飲料水、医薬品、入院患者移送資機材、非常用自家発電機等を確保するものとする。

(屋内避難)

13 (1) 本部長は市(町村)災害対策本部から屋内退避指示があった場合は、その指示にもとづいて、各班を指揮し、適切な屋内退避措置を講じる。

(2) 各班は、あらかじめ定めた避難手順をもとに活動するものとする。

(3) 入院患者および付添者等は、職員の指示に従うものとする。

(避難先病院との調整)

14 (1) 総務班は、避難に備え、避難先病院における受入について確認および調整を行う。

(2) 本部長は、新たに避難先病院の確保が必要になる場合は、県保健福祉部災害対策本部に対し調整を依頼する。

(避難準備)

15 (1) 本部長は、原子力災害が発生したという情報があった場合には、患者対策班を指示し、入院患者に避難の準備をさせるものとする。

(2) 患者対策班は、本部長の指示に従い、入院患者に現在の状況を伝達し、入院患者の安全確認を行うとともに、不必要的不安および動搖を与えないようにするものとする。なお、早期退院が可能な患者については退院を勧奨し、退院にあたっては、あらかじめ定めた方法により家族等への引継ぎを行う。

(3) 本部長は、県保健福祉部災害対策本部に対し、入院患者等の人数、避難に必要な車両や資機材の調達および人員の派遣など、避難に関する情報提供と支援要請を行うものとする。

(避難)

16 (1) 本部長は、避難指示があった場合、その指示に基づき、各班を指揮し、入院患者及び施設職員を避難させるものとする。なお、避難手段等の確保に時間を要する場合や、避難することにより入院患者等の心身の状態が

悪化する恐れがある等の場合には、屋内避難を優先する。

- (2) 搬送する入院患者は、避難先病院と受入調整および適切な避難手段が確保された者から、順次、避難を開始するものとする。
- (3) 総務班は、避難先病院に出発予定時刻、到着予定時刻等を連絡するものとする。
- (4) 患者対策班は、避難車両に同乗して避難中の入院患者のケアを行うものとする。
- (5) 患者対策班は、避難先病院に到着後、本部長に連絡するものとする。
- (6) 物品調達班は、避難先病院で使用する物資、資機材等を搬送するものとする。
- (7) 避難の開始、避難を終了した場合などの施設の対応状況については、その都度、県保健福祉部災害対策本部に報告するものとする。
- (8) 患者庶務班は、入院患者の家族に避難に関する情報を連絡するものとする。

(避難先病院における医療支援等)

- 17 施設職員は、避難先病院における医療活動に協力する。

(患者への医療の維持)

- 18 (1) 避難に際しては、入院患者の状態に留意し、その症状に応じて必要な医療の提供に努めるものとする。
- (2) 避難先における患者への医療については、避難先施設と調整の上、可能な限り避難前と同様の医療を受けられるよう努めるものとする。
- (3) 避難が長期化する場合においては、患者がより環境の整った医療機関へ転院できるよう、検討を行うものとする。

別表1

原子力災害対策対応組織

茨城県中央病院

組織名	役職	職	担当業務
災害対策本部	本部長	病院長	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者 ・原子力災害応急対策の実施全般についての指揮
	副本部長	副病院長 災害対策部長	<ul style="list-style-type: none"> ・本部長の補佐 ・本部長に事故があつた時の代理 ・避難状況のとりまとめ
	本部員	がんセンター長 救急センター長 化学療法センター長 呼吸器センター長 地域連携・患者支援センター長 放射線治療センター長 予防医療センター長 透析センター長 循環器センター長 周産期センター長 医療局長 看護局長 薬剤局長 医療技術部長 各病棟長 外来部長 手術部長 事務局長 地域支援局長 臨床研究局長 医療教育局長 血液診療・輸血部統括局長 女性腫瘍統括局長 循環器統括局長 口腔統括局長	<ul style="list-style-type: none"> ・一般外来診療の継続の是非 ・一般外来患者の帰宅の是非 ・実施中の手術の中止の是非 ・予定手術の中止の是非 ・避難患者の避難先、避難順序、避難経路等の決定 ・避難先医療機関、消防署、県庁その他関係機関との総合調整 ・各災害対策班の総合調整 ・停止した機能の回復 ・その他災害対策本部として必要な方針の決定
	本部付		
災害対策本部	局長 次長 事務局員	事務局長 事務局次長 経営分析専門監 総務課長 企画情報室長 経理課長 医事課長 施設課長 栄養管理科長 警備員(責任者)	<ul style="list-style-type: none"> ・各災害対策班の統轄 ・災害対策本部会議の開催の調整 ・登院した職員の各班割当・調整
総務班	班長 班員	総務課長 総務課員	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の立ち上げ ・職員の参集状況の確認 ・職員への連絡、所在確認 ・各災害対策班との連絡調整 ・県庁及び各行政機関との連絡調整・支援要請 ・衛星電話、防災電話、防災FAXの運用 ・避難先施設への連絡調整 ・災害対策本部会議の準備・議事録作成 ・報道機関への対応 ・記録の管理(映像による記録を含む)

別表1

原子力災害対策対応組織

茨城県中央病院

組織名	役職	職	担当業務
情報収集班	班長 班員	企画情報室長 企画情報室職員 診療情報室職員	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力事故等の情報収集及び原子力災害対策本部から命じられた情報の収集 ・電子カルテが停止した場合の復旧 ・共用施設に係る被害状況の確認 ・医局に係る被害状況の確認 ・建物被害状況の写真撮影及び記録写真(映像)の撮影 ・総務班業務の補佐
物品調達班	班長 班員	経理課長 経理課員	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤、衛生材料、消耗品、資機材の調達及び確保 ・各種燃料(A重油、ガソリン、医療ガス等)の調達及び確保 ・災害対策本部から命じられた物品の調達 ・持出品の確認 ・避難先施設で使用する物資、資機材の輸送
患者庶務班	班長 班員	医事課長 医事課員 診療情報室職員	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者避難先の管理及びリスト作成 ・入院患者の家族等への連絡
ライフライン班	班長 班員	施設課長 施設課員 エネセン職員	<ul style="list-style-type: none"> ・施設被害状況の確認 ・医療ガス、ボイラー、エレベーター等施設の点検及び復旧 ・自家発電装置の操作 ・貯水槽、重油等燃料等危険物の残量の調査報告及び安全確認 ・外気の遮断 ・火の元の確認
食糧供給班	班長 班員	栄養管理科長 栄養管理科員	<ul style="list-style-type: none"> ・食糧、飲料水の調達及び確保 ・備蓄食糧の配布
交通整理班	班長 班員	警備責任者 警備員	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車及び車両の誘導(屋内避難指示時を除く) ・駐車場の整理(屋内退避指示時を除く) ・事件事故防止等の治安維持
患者対策班	班長 副班長 班員	各病棟長 外来部長 各センター長 手術部長 災害対策部長 医療局長 各病棟師長 外来師長 各センター看護師長 救急部長 副総看護師長 医師 各病棟看護師 外来看護師 各センター看護師 手術室看護師 薬剤師 コメディカル職員 事務職員	<ul style="list-style-type: none"> ・入院患者への情報伝達、安全確認 ・入院患者の避難準備、避難誘導 ・入院患者の家族等への引き渡し ・避難中の入院患者のケア ・外来患者への情報伝達、安全確認 ・外来患者の帰宅誘導、避難誘導
放射線管理班	班長 班員	放射線技術科長 放射線技術科員	<ul style="list-style-type: none"> ・空間放射線量モニタリング ・職員及び入院患者の被ばく線量の評価

別表1

原子力災害対策対応組織

茨城県中央病院

組織名	役職	職	担当業務
			<ul style="list-style-type: none">・敷地及び建物内の放射線量の調査・立入禁止区域の設定・養生等の指示及び指導・外来患者の被ばく量のトリアージ及び除染(隔離)・搬送中の放射線量測定

○茨城県立中央病院 原子力災害対策組織図

<p>災害生活期に火災警報装置が表示する旨</p> <p>(原子力災害警報装置)</p> <p>（1）他の外因による煙の発生 （2）火災警報装置の発生音、切離音、警報装置の音 （3）火災警報装置の発生音、切離音、警報装置の音 （4）火災警報装置の発生音、切離音、警報装置の音 （5）火災警報装置の発生音、切離音、警報装置の音</p>	<p>（原子力災害警報装置により表示）</p> <p>（1）本館内会員室 （2）がんセンター会員室 （3）所管部内の本部会員室を定める旨</p> <p>（4）市町村等から、原子力災害警報装置を入しました。</p>	<p>（原子力災害警報装置により表示）</p> <p>（1）本館内会員室 （2）がんセンター会員室 （3）所管部内の本部会員室を定める旨</p> <p>（4）市町村等から、原子力災害警報装置を入しました。</p>

別表2

緊急連絡先

茨城県立中央病院

【関係機関】

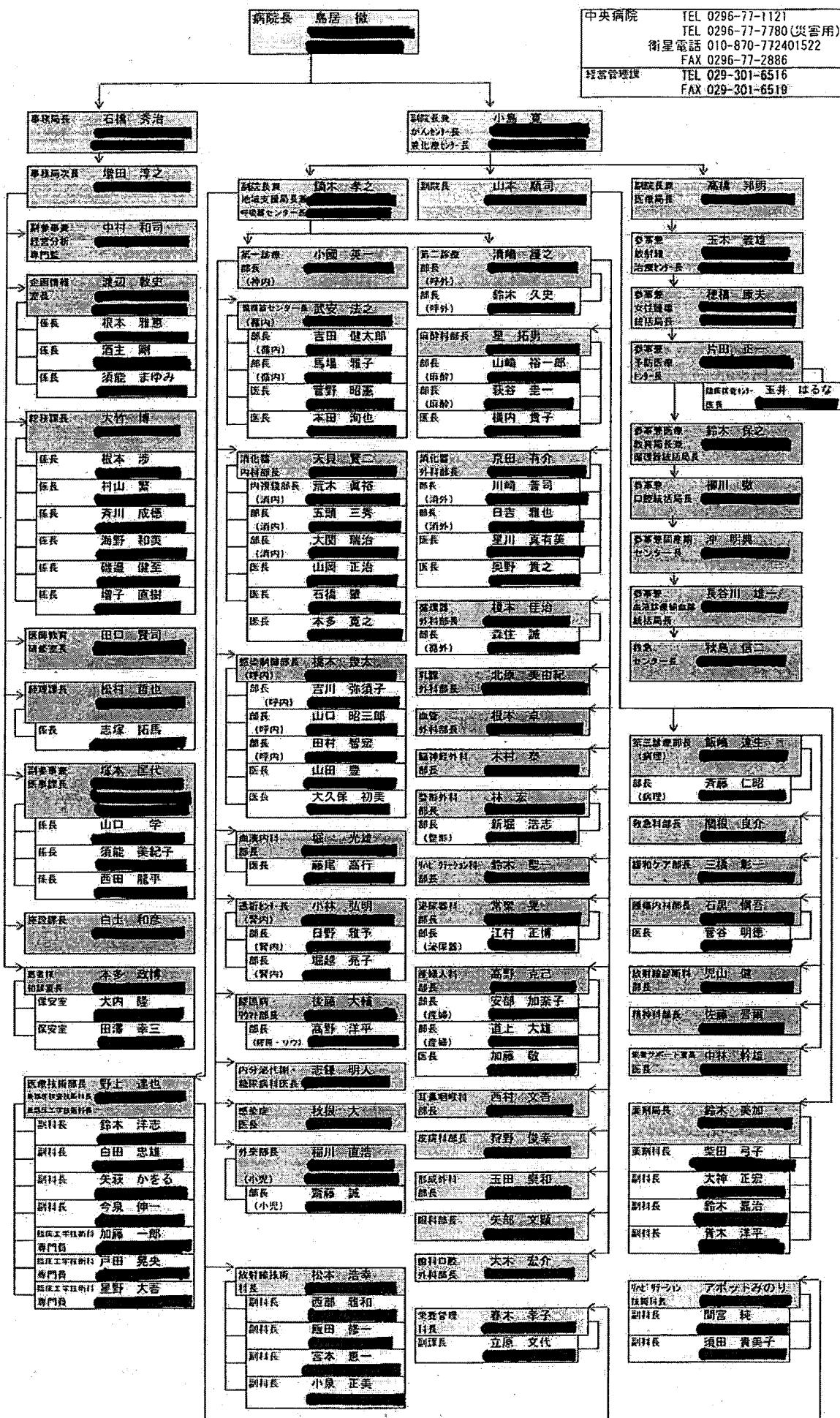
連絡先	名称	電話	FAX	Eメール
県保健福祉部担当課	厚生総務課	029-301-3129	029-301-3139	koso@pref.ibaraki.lg.jp
県防災担当課	原子力安全対策課	029-301-2922	029-301-2929	gentai@pref.ibaraki.lg.jp
県防災担当課	防災・危機管理課	029-301-2880	029-301-2898	bousaikiki@pref.ibaraki.lg.jp
県主管課	病院局経営管理課	029-301-6516	029-301-6519	byokei@pref.ibaraki.lg.jp
放射線検査センター所管	感染症対策課	029-301-3233	029-301-3239	yobo@pref.ibaraki.lg.jp
保健所	中央保健所	029-241-0100	029-241-5313	chuho@pref.ibaraki.lg.jp
市町村防災担当課	笠間市役所総務課危機管理室	0296-77-1101	0296-78-0612	kikikanri@city.kasama.lg.jp
市町村保健福祉担当	笠間市役所健康増進課	0296-77-9145	0296-77-9146	kenko@city.kasama.lg.jp
消防署	笠間市消防本部	0296-73-0119	0296-72-9910	shoboso@city.kasama.lg.jp
消防署	友部消防署	0296-78-0119	0296-78-3232	shobotomobe@city.kasama.lg.jp
警察署	笠間警察署	0296-73-0110	0296-73-0110	kasakei@pref.ibaraki.lg.jp
協力 施設				

【緊急連絡網】

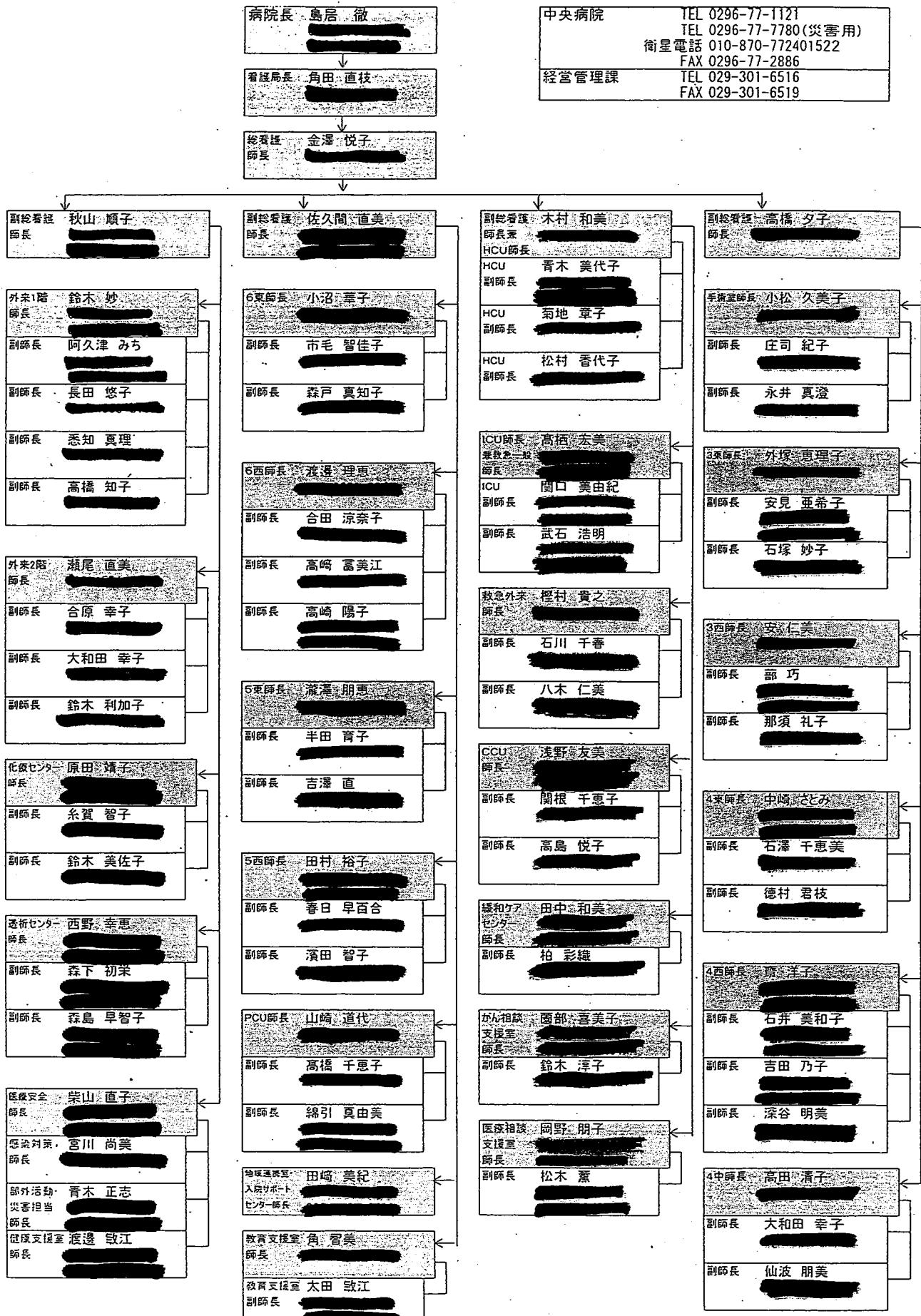
別紙 緊急連絡表 のとおり

茨城県立中央病院 緊急連絡表（総括表） 令和3年4月1日現在

部外秘：取扱注意



看護局へ統く



別表3

避難先病院、避難手段、避難経路

総括表

茨城県立中央病院

避難先病院	※各病棟ごとに同一の避難先となるよう受入患者数を考慮した。																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">避難患者数</th> <th colspan="6">同行者</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th>医師</th> <th>看護師</th> <th>臨床工学技士</th> <th>放射線技師</th> <th>その他職種</th> <th>事務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽症者(独歩患者)</td> <td>100名</td> <td>13名</td> <td>79名</td> <td>0名</td> <td>7名</td> <td>28名</td> <td>12名</td> <td>239名</td> </tr> <tr> <td>中等症者(護送患者)</td> <td>163名</td> <td>40名</td> <td>163名</td> <td>0名</td> <td>11名</td> <td>45名</td> <td>19名</td> <td>441名</td> </tr> <tr> <td>重症者(担送患者)</td> <td>140名</td> <td>108名</td> <td>280名</td> <td>16名</td> <td>10名</td> <td>41名</td> <td>15名</td> <td>610名</td> </tr> <tr> <td>新生児・未熟児</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>1名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>405名</td> <td>163名</td> <td>526名</td> <td>16名</td> <td>29名</td> <td>114名</td> <td>47名</td> <td>1,300名</td> </tr> </tbody> </table>								避難患者数		同行者						計			医師	看護師	臨床工学技士	放射線技師	その他職種	事務	軽症者(独歩患者)	100名	13名	79名	0名	7名	28名	12名	239名	中等症者(護送患者)	163名	40名	163名	0名	11名	45名	19名	441名	重症者(担送患者)	140名	108名	280名	16名	10名	41名	15名	610名	新生児・未熟児	2名	2名	4名	0名	1名	0名	1名	10名	計	405名	163名	526名	16名	29名	114名	47名	1,300名
避難患者数		同行者						計																																																														
		医師	看護師	臨床工学技士	放射線技師	その他職種	事務																																																															
軽症者(独歩患者)	100名	13名	79名	0名	7名	28名	12名	239名																																																														
中等症者(護送患者)	163名	40名	163名	0名	11名	45名	19名	441名																																																														
重症者(担送患者)	140名	108名	280名	16名	10名	41名	15名	610名																																																														
新生児・未熟児	2名	2名	4名	0名	1名	0名	1名	10名																																																														
計	405名	163名	526名	16名	29名	114名	47名	1,300名																																																														
	※患者の症状は、29年度の最多入院日の症状者数から按分した。																																																																					
	※医師は、軽症8人に1人、中等症者4人に1人、重症者1.3人に1人程度とし、按分した。																																																																					
	※看護師は、軽症1.2人に1人、中等症者1人に1人、重症者1人に2人程度とし、按分した。																																																																					
	※臨床工学技士は、呼吸器等の管理から、重症者数で按分した。																																																																					
	※放射線技師・その他職種・事務は、患者数で按分した。																																																																					
	※同行者数は4月1日現在の職員数とし、医師は正職員、寄附講座医、初期研修医、後期研修医を計上し、その他同行者は正職員を計上した。																																																																					
避難手段	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要車両台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉バス(車いす)</td> <td>83台</td> </tr> <tr> <td>大型バス</td> <td>11台</td> </tr> <tr> <td>乗用車</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>141台</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>5台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>242台</td> </tr> </tbody> </table>			必要車両台数		福祉バス(車いす)	83台	大型バス	11台	乗用車	2台	救急車	141台	トラック	5台	計	242台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施設保有車両台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉バス(車いす)</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>大型バス</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>乗用車</td> <td>4台</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5台</td> </tr> </tbody> </table>						施設保有車両台数		福祉バス(車いす)	台	大型バス	台	乗用車	4台	救急車	1台	トラック	台	計	5台																																	
必要車両台数																																																																						
福祉バス(車いす)	83台																																																																					
大型バス	11台																																																																					
乗用車	2台																																																																					
救急車	141台																																																																					
トラック	5台																																																																					
計	242台																																																																					
施設保有車両台数																																																																						
福祉バス(車いす)	台																																																																					
大型バス	台																																																																					
乗用車	4台																																																																					
救急車	1台																																																																					
トラック	台																																																																					
計	5台																																																																					
※重症者はストレッチャー搬送の救急車とし、患者1人、医師1人、看護師1人、技士1人の4人を最多乗車人数とした。																																																																						
※中等症者は車いす搬送の福祉バスとし、患者2人、医師1人、看護師2人の5人を最多乗車人数とした。																																																																						
※軽症者は独歩可能な大型バスとし、患者、医師、看護師、その他職種、事務の40人程度を乗車人数とした。																																																																						
※トラックは、資機材運搬用として各避難先病院に1台を用意した。																																																																						
施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。																																																																						
避難経路	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">県調達車両台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉バス(車いす)</td> <td>83台</td> </tr> <tr> <td>大型バス</td> <td>11台</td> </tr> <tr> <td>乗用車</td> <td>0台</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>140台</td> </tr> <tr> <td>トラック</td> <td>5台</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>239台</td> </tr> </tbody> </table>			県調達車両台数		福祉バス(車いす)	83台	大型バス	11台	乗用車	0台	救急車	140台	トラック	5台	計	239台	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">入院患者の避難に必要となる資機材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車いす</td> <td>163台</td> </tr> <tr> <td>ストレッチャー</td> <td>140台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						入院患者の避難に必要となる資機材		車いす	163台	ストレッチャー	140台																																									
県調達車両台数																																																																						
福祉バス(車いす)	83台																																																																					
大型バス	11台																																																																					
乗用車	0台																																																																					
救急車	140台																																																																					
トラック	5台																																																																					
計	239台																																																																					
入院患者の避難に必要となる資機材																																																																						
車いす	163台																																																																					
ストレッチャー	140台																																																																					

別表3

避難先病院、避難手段、避難経路

茨城県立中央病院

避難先病院	([REDACTED] を主に)									
避難手段	避難患者数		同行者					計		
	軽症者(独歩患者)	[REDACTED] 名	[REDACTED] 医師	[REDACTED] 名	[REDACTED] 看護師	[REDACTED] 名	[REDACTED] 臨床工芸技士	[REDACTED] その他職種	[REDACTED] 事務	[REDACTED] 名
	中等症者(護送患者)	[REDACTED] 名	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] 名
	重症者(担送患者)	[REDACTED] 名	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] 名
	新生児・未熟児	[REDACTED] 名	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] 名
	計	[REDACTED] 名	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED] 名
避難手段	必要車両台数		施設保有車両台数							
	福祉バス(車いす)	[REDACTED] 台	福祉バス(車いす)	[REDACTED] 台						
	大型バス	[REDACTED] 台	大型バス	[REDACTED] 台						
	乗用車	[REDACTED] 台	乗用車	[REDACTED] 台						
	救急車	[REDACTED] 台	救急車	[REDACTED] 台						
	トラック	[REDACTED] 台	トラック	[REDACTED] 台						
	計	[REDACTED] 台	計	[REDACTED] 台						
施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。										
避難経路	県調達車両台数		入院患者の避難に必要となる資機材							
	福祉バス(車いす)	[REDACTED] 台	車いす	[REDACTED] 台						
	大型バス	[REDACTED] 台	ストレッチャー	[REDACTED] 台						
	乗用車	[REDACTED] 台		[REDACTED]						
	救急車	[REDACTED] 台		[REDACTED]						
	トラック	[REDACTED] 台		[REDACTED]						
	計	[REDACTED] 台		[REDACTED]						

別表3

避難先病院、避難手段、避難経路

茨城県立中央病院

避難先病院	() 主()									
避難手段	避難患者数		同行者					計		
	医師	看護師	臨床工学技士	その他職種	事務					
	難症者(独歩患者)	名	名	名	名					
	中等症者(護送患者)	名	名	名	名					
	重症者(担送患者)	名	名	名	名					
	新生児・未熟児	名	名	名	名					
計	名	名	名	名						
必要車両台数		施設保有車両台数								
福祉バス(車いす)	台	福祉バス(車いす)	台							
大型バス	台	大型バス	台							
乗用車	台	乗用車	台							
救急車	台	救急車	台							
トラック	台	トラック	台							
計	台	計	台							
施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。										
県調達車両台数		入院患者の避難に必要となる資機材								
福祉バス(車いす)	台	車いす	台							
大型バス	台	ストレッチャー	台							
乗用車	台									
救急車	台									
トラック	台									
計	台									
避難経路										

別表3

避難先病院、避難手段、避難経路

茨城県立中央病院

避難先病院	() () () () () () () () () () () ()									
避難手段	避難患者数		同行者						計	
	医師	看護師	臨床工学技士	その他職種	事務					
	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
新生児・未熟児	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
計	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
避難手段	必要車両台数		施設保有車両台数							
	福祉バス(車いす)	台	福祉バス(車いす)	台						
	大型バス	台	大型バス	台						
	乗用車	台	乗用車	台	4					
	救急車	台	救急車	台						
トラック	台	トラック	台							
計	台	計	台	4						
施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。										
避難経路	県調達車両台数		入院患者の避難に必要となる資機材							
	福祉バス(車いす)	台	車いす	台						
	大型バス	台	ストレッチャー	台						
	乗用車	台								
	救急車	台								
トラック	台									
計	台									

別表3

避難先病院、避難手段、避難経路

茨城県立中央病院

避難先病院	(主に)									
	避難患者数		同行者					計		
医師	看護師	臨床工学技士	その他職種	事務						
軽症者(独歩患者)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
中等症者(護送患者)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
重症者(担送患者)	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
新生児・未熟児	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
計	名	名	名	名	名	名	名	名	名	
避難手段	必要車両台数		施設保有車両台数							
	福祉バス(車いす)	台	福祉バス(車いす)	台						
	大型バス	台	大型バス	台						
	乗用車	台	乗用車	台	4	台				
	救急車	台	救急車	台						
	トラック	台	トラック	台						
計	台	計	台	4	台					
施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。										
避難経路	県調達車両台数		入院患者の避難に必要となる資機材							
	福祉バス(車いす)	台	車いす	台						
	大型バス	台	ストレッチャー	台						
	乗用車	台								
	救急車	台								
	トラック	台								
計	台									

別表3

避難先病院、避難手段、避難経路

茨城県立中央病院

避難先病院	() () () () () () () ()									
避難手段	避難患者数		同行者						計	
	医師	看護師	臨床工学技士	その他職種	事務					
	名	名	名	名	名	名	名	名		
	名	名	名	名	名	名	名	名		
	名	名	名	名	名	名	名	名		
	名	名	名	名	名	名	名	名		
計	名	名	名	名	名	名	名			
避難経路	必要車両台数		施設保有車両台数							
	福祉バス(車いす)	台	福祉バス(車いす)	台						
	大型バス	台	大型バス	台						
	乗用車	台	乗用車	台	4	台				
	救急車	台	救急車	台						
	トラック	台	トラック	台						
計	台	計	台	4	台					
施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。										
県調達車両台数										
福祉バス(車いす)	台	入院患者の避難に必要となる資機材								
大型バス	台	車いす	台							
乗用車	台	ストレッチャー	台							
救急車	台									
トラック	台									
計	台									

別表3-6

避難先病院、避難手段、避難経路

茨城県立中央病院

避難先病院																
避難手段	避難患者数 軽症者(独歩患者) 中等症者(護送患者) 重症者(担送患者) 新生児・未熟児 計		医師	看護師	臨床工科学士	放射線技師	その他職種	事務					計			
			[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
			[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
			[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
			[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
避難経路	必要車両台数 福祉バス(車いす) 大型バス 乗用車 救急車 トラック 計		施設保有車両台数 福祉バス(車いす) 大型バス 乗用車 救急車 トランク 計													
					[REDACTED]											
					[REDACTED]											
					[REDACTED]											
					[REDACTED]											

施設保有車両で不足する場合は、県に連絡する。

県調達車両台数	
福祉バス(車いす)	台
大型バス	台
乗用車	台
救急車	台
トラック	台
計	台

入院患者の避難に必要となる資機材	
車いす	台
ストレッチャー	台
	台

別表4

備蓄品リスト

茨城県立中央病院

区分	品名	規格	数量	保管場所	使用期限	備考
食料・飲料						
(職員用)	非常用保存ライス(アルファ米)	サタケ マジックライス 五目ご飯	1350食	リネン保管庫	2024.2	
	〃	サタケ マジックライス ドライカレー	1350食	〃	2024.2	
	〃	サタケ マジックライス エビピラフ	1300食	〃	2024.2	
	非常用保存ライス(レトルト)	ホリカフーズ レスキューフーズ カレーライス	660食	〃	2024.1	
	〃	ホリカフーズ レスキューフーズ 牛丼	670食	〃	2022.1	
	〃	ホリカフーズ レスキューフーズ 中華丼	670食	〃	2022.2	
	非常用クラッカー	ヤマザキナビスコ リップ保存缶S	600缶	〃	2023.10	
	〃	グリコ ビスコ保存缶	600缶	〃	2023.10	
	非常用飲料水	富士ミネラルウォーター 500ml	12000本	〃	2024.2	
(患者用)	飲料水	立山の天然水 500ml	960本	リネン保管庫	2022/6/2	
	〃	立山の天然水 500ml	96本	〃	2022/11/24	
	〃	立山の天然水 500ml	240本	〃	2024/2/18	
	〃	純アルカリ保存水 500ml	1440本	〃	2027/6/16	
	α化米用	備蓄水 2L	72本	〃	2024/11/12	
	主食(アルファ米)	亀田製菓「白がゆ」200g	1240本	〃	2026/5/3	
	〃	尾西の白米 100g	450P	〃	2022/12/1	
	〃	尾西の炊き出しセット 5kg	600食分	〃	2025/3/31	
	〃	尾西の炊き出しセット 5kg	100食分	〃	2026/8/31	
	〃	尾西の炊き出しセット 5kg	250食分	〃	2026/9/30	
	主菜(缶詰)	シーチキンフレーク 80g	216缶	〃	2022/9/4	
	〃	ホテイやきとり缶 75g	1200缶	〃	2023/2/13	
	主菜(パウチ)	備蓄用ビーフカレー 200g	960P	〃	2025/9/2	
	〃	宝幸 サバ梅しそ風味 80g	160P	〃	2023/1/16	
	〃	宝幸 サバ梅しそ風味 80g	1040P	〃	2023/6/1	
	副菜(缶詰)	BHむらさき花豆 70g	432缶	〃	2022/3/15	
	〃	はごろもみかん缶 190g	384缶	〃	2022/10/4	
	〃	はごろも黄桃缶 190g	384缶	〃	2023/8/31	
	〃	はごろも杏仁缶 190g	408缶	〃	2023/12/31	
	〃	BHりんごすりおろし缶 200g	120缶	〃	2024/5/15	
	〃	ポテトソナサラダ缶 100g	144缶	〃	2023/7/29	
	〃	ポテトソナサラダ缶 100g	144缶	〃	2024/4/21	
	その他(スープ等)	BHオニオンスープ 190g	390缶	〃	2024/4/5	
	〃	野菜一日これ一本 190g	780缶	〃	2022/10/16	
	〃	塩パック 0.5g	2000袋	〃	2023/3/22	
医薬品	細胞外補充液	詳細は別紙1のとおり		詳細は別紙2のとおり		
	維持液	〃		〃		
	代用血漿液	〃		〃		
	透析関連製剤	〃		〃		
	解熱鎮痛消炎剤(小児用含)	〃		〃		
	抗生素質製剤(小児用含)	〃		〃		
	血液製剤	〃		〃		

別表4

備蓄品リスト

茨城県立中央病院

区分	品名	規格	数量	保管場所	使用期限	備考
	トキソイド類	〃		〃		
	抗ウイルス剤	〃		〃		
	滅菌消毒剤	〃		〃		
	外皮用薬	〃		〃		
	止血剤	〃		〃		
	強心剤、昇圧剤	〃		〃		
	麻酔剤	〃		〃		
	衛生材料	〃		〃		
	鎮咳剤、去痰剤(小児用含)	〃		〃		
	止しや剤、整腸剤(小児用含)	〃		〃		
	便秘薬	〃		〃		
	睡眠鎮静剤、抗不安剤	〃		〃		
	抗てんかん剤	〃		〃		
	抗精神病薬	〃		〃		
	口腔用剤	〃		〃		
	消化性潰瘍用剤	〃		〃		
	鎮けい剤	〃		〃		
	健胃消化剤	〃		〃		
	総合感冒剤(小児用含)	〃		〃		
	降圧剤	〃		〃		
	抗血栓用剤	〃		〃		
	糖尿病用剤	〃		〃		
	心疾患用剤	〃		〃		
	喘息治療剤	〃		〃		
	抗ヒスタミン剤(小児用含)	〃		〃		
	鎮暈薬	〃		〃		
	骨格筋弛緩剤	〃		〃		
	麻酔用筋弛緩剤	〃		〃		
	眼科用剤	〃		〃		
	呼吸促進剤	〃		〃		
	ビタミン剤	〃		〃		
	解毒剤	〃		〃		
その他	FAX		1台	本館大会議室		
	テレビ		1台	本館大会議室		
	携帯ラジオ		1台	本館大会議室		
	ハンドスピーカー		5台	本館大会議室		
	懐中電灯		20台	本館大会議室		
	防火服一式		5組	本館大会議室		
	ライティングシート		1箱	本館大会議室		
	防水ドラム延長コード		1台	本館大会議室		
	衛星電話機		1台	総務課事務室		
	携帯電話機		1台	総務課事務室		
	データカードルーター		1台	総務課事務室		

別表4

備蓄品リスト

茨城県立中央病院

区分	品名	規格	数量	保管場所	使用期限	備考
	ノートパソコン		1台	総務課事務室		
	プロジェクター		1台	総務課事務室		
	インクジェットプリンター		1台	総務課事務室		
	デジタルカメラ		1台	総務課事務室		
	トランシーバー		10台	総務課事務室		
	ビデオカメラ		1台	総務課事務室		
	ホワイトボード		5台	災害医療センター		
	トリアージタグ		100枚	災害医療センター		
	メガホン		10個	災害医療センター		
	ブルーシート		5枚	災害医療センター		
	救護所旗		3枚	災害医療センター		
	トリアージシート		1組	災害医療センター		
	テント		1組	災害医療センター		
	ガス式発電機		1台	燃料庫		
	移動式発電機		1台	エネルギーセンター		

別紙 1

薬効別分類	小分類	一般名	規格	容量	商品名	備蓄量
細胞外補充液 維持液 代用血漿液	血液代用薬	生理食塩液		100ml	生理食塩液	2000V
				500ml		6000V
				1000ml		2000V
血液增量剤	ヒドロキシエチルデンプン配合剤		500ml未満	ヘスノパンダード	—	180V
電解質液			500ml以上	リシグル、ハルトマン、ラクテック	500V	500V
蛋白アミノ酸	ブドウ糖注		500ml以上	ソルデム、ソリタT等	3000V	3000V
糖類剤		20%	500ml以上	ビーフリード、エルネオバ、フルカリック	1000V	1000V
		5%	20ml	ブドウ糖注	2000A	2000A
		5%	20ml		2000A	2000A
D-マニニトール注射液(Sを含む)		15%、20%	200ml、300ml、500ml	マニニトール注等	200V	200V
透析液	透析液	液		キシダリー類、AKソリタ類、カーボスター類	200本	200本
透析剤		粉末		キシダリー類、AKソリタ類、カーボスター類	300袋	300袋
腎性貧血薬				ネスプ、エボジン類	500A(筒)	500A(筒)
(内服)	アセトアミノフェン錠	200mg		力ロナール錠等	46000T	46000T
(小児用含)	ジクロフェナクNa錠	25mg		ボルタレン錠等	30000T	30000T
	ロキソプロフェンNa錠	60mg		ロキソニン錠等	30000T	30000T
(注射)	スルピリン注	25%	2ml	メチロン注等	1500A	1500A
(外用)	アセトアミノフェン坐剤	100mg		ソセゴン、ペンタジン、レペタン、ペルタジン等	3000A	3000A
	ジクロフェナクNa坐剤	50mg		アルピニー坐剤、アンヒバ坐剤等	2000(個)	2000(個)
(内服)	ペニシリン系 錠・カプセル	250mg		アナバシ坐剤、ボルタレンサポ等	40000T(P)	40000T(P)
(小児用含)	セフエム系 錠・カプセル			サワシリソ錠、パセトシンカプセル等	50000T(P)	50000T(P)
	セフエム系 ドライシロップ	100mg/g		プロモックス、マイクト、セフゾン等	25000g	25000g
(注射)	クラリスロマイシンドライシロップ	100mg/g		センセファリン、ラリキシン、オラスピア、バナン等	6000g	6000g
	ペニシリン系注	1g		クラリシッド、クラリストライシロップ小兒用等	3000V	3000V
	セフエム系注	1g		ペニシリン注、ドイル注、ビクシリン注等	1500V	1500V
	その他の抗生素製剤	300mg	2ml	パンスボリン静注、セファメジン注等	300A(V)	300A(V)
化学療法剤(内服)				ダラシンS注射液等		
血液製剤				シプロキサン、クラビット、ジェニナック、アベロックス	50000T(P)	50000T(P)
トキソイド類	抗破傷風人免疫グロブリン			テタノブリン等	10V	10V
抗ウイルス剤	沈降破傷風トキソイド		0.5ml	沈降破傷風トキソイド	300本	300本
	リソ酸オセルタミビル	75mg		タミフルカプセル	4000P	4000P
	ペラミビル水和物	/ 3%		タミフルドライシロップ	2000g	2000g
		150mg、300mg		ラピアクタ点滴用	90V	90V

薬効別分類	小分類	一般名	規格	容量	主な商品名	備蓄量
滅菌消毒剤		グルコン酸クロルヘキサジン液		500ml	ヒビデン、マスキン、ヘキザック等	1300本
	塩化ベンザルコニウム			500ml	オスナシン液等	400本
	消毒用エタノール			500ml	消毒用エタノール	1500本
	オキシドール			500ml	オキシドール	100本
	ポビドンヨード液			500ml	イソジンスクラブ、手術用ペピヨドン、イソジン液等	500本
	次亜塩素酸ナトリウム	6%	10L未満 10L以上	ピューラックス等		400本 50本
外皮用薬	外皮用抗生素製剤 (配合剤も含む)	テトラサイクリン系 アミノグリコシド系		3000本	テラマイシン軟膏等 ゲンタシン軟膏・クリーム等	
	クロラムフェニコール系				クロマイ-P軟膏等	
	抗菌外用剤	スルファジアン銀		500g	ゲーベンクリーム	30本
	抗生素含貼付剤	フライオマイシン			ソフラチュール	700枚
	外皮用ステロイド剤 (混合製剤も含む)			5g	ベトネバートN軟膏・クリーム等	3000本
	パップ剤			10g	リンドロンVG軟膏・クリーム等	
	皮膚保湿剤	ワセリン		枚	モーラス、ステイバン等	6000枚
	(注射)	カルバジクロムスルホン酸ナトリウム注	0.5%	500g	MSシップ(冷・温)等	20000枚
止血剤		トラネキサム酸注	10%	5,10,20ml	白色ワセリン	120本
	ビタミンK注			10ml	アドナ注(静注用)等	1500A
(外用剤)	酸化セルロース			10ml	トランサンミンS注等	1500A
	ゼラチン				ケイツーN注、ビタミンK注等	500A
	アドレナリン液	0.1%			サージセルアルノーバブルヘモスタット	300枚
	トロンビン	5000E,10000E			ゼルフォーム、スピンセル	
	ジゴキシン錠	0.15mg, 0.25mg			ボスマシン液	
	アミノフィリン注	250mg		1ml	トロンビン液	30本
	ジゴキシン注	0.25mg			ジゴキシン錠等	300本
	塩酸ドペミン注			10ml	ネオフィリン注等	1500T
	塩酸ドプタミン注			1ml	ジゴシン注等	900A
	ノルアドレナリン注	1mg		1ml	イノバシ注・ドミニン注等	500A
強心剤、昇圧剤	強心剤(内服)	コハク酸ニドロコルチゾンナトリウム注	100mg		ドブミン、ドプロテックス等	1000A
	強心剤(注射)	コハク酸メチルプレドニゾロンNa注	500mg			1000A
	ジゴキシン注					1000A
	ノルアドレナリン注					1000A
副腎皮質ホルモン剤		コハク酸ニドロコルチゾンナトリウム注	100mg	1ml	ノルアドレナリン注	900V
		コハク酸メチルプレドニゾロンNa注	500mg		ソルコーテフ、サクシシン等	
		リジ酸デキサメサゾンナトリウム注			ソルメドロール等	500A
				1ml	デカドロン注、オルガドロン注等	800V
血管収縮剤(内服)	エルゴタミン配合錠				クリアミン配合錠	3000T

薬効別分類	小分類	一般名	規格	容量	主な商品名	備蓄量
	血管収縮剤(注射)	エピネフリン注	1mg 0.15mg、0.3mg 1%	1ml 20ml、100ml 250ml	ボスマシン注等 エビペン キシロカイン注、リドカイン注等 フオーレン、セボフレン等	1000A 50本 300V
麻酔剤	局所麻酔剤	リドカイン注				
	全身麻酔剤	ハロケン化麻酔薬 バルビツール酸系及びチオバルビツール酸系	0.5g		ラボナール、チトゾール、イソゾール等	30本 300A
衛生材料	ガーゼ、包帯、脱脂綿等	ガーゼ 包帯 絆創膏 救急絆 手術用手袋 注射器、注射針(ディス押含む) 輸液セット	S,M,L S,M,L S,M,L 10ml			30000g 6000m 900本 500個 7000枚 300双 3000本 30000セット
	鎮咳剤、去痰剤 (小児用含)	配合剤 塩酸プロムヘキシン錠 臭化水素酸デキストロメトルファン	4mg 15mg	500ml ビソルボン錠等	フスコデ配合シロップ、ライトゲン配合シロップ等 メジコン錠等	50本 6000T
止しや剤、整腸剤 (小児用含)	塩酸ロペラミド		1mg		ロペミンカプセル等	6000T
	便秘薬	耐性乳酸菌製剤 グリセリン浣腸剤 エチゾラム錠 ジアゼパム錠 ジアゼパム注 トリアゾラム錠 プロチゾラム錠 フェニトイントリウム バルプロ酸ナトリウム フェノバルビタール錠 フェノバルビタール注 カルバマゼピン ハロベリドール	0.05,0.1,0.2% 50% 0.5mg 5mg 10mg 0.25mg 0.25mg 25mg、100mg 100mg、200mg 30mg 100mg 100mg、200mg 5mg	0.05,0.1,0.2% 50% 0.5mg 5mg 10mg 2ml 0.25mg 0.25mg 25mg、100mg 100mg、200mg 30mg 100mg 100mg 1ml	ロペミン細粒、ロペミン小兒用等 ビオフェルミンR、レベニン等 グリセリン浣腸等 デノラム錠等 セルシン錠、ホリゾン錠等 セルシン注、ホリゾン注等 ハルシオン錠等 レンドルミン錠(OD錠含む)等 ヒダントール錠、アレビアチン錠 デパケン錠(Rも含む)等 ヒダントール錠、アレビアチン錠 フェノバルビール錠 フェノバルビール注 カルバマゼピン テグレトール錠等 セレネース注、リントン注等	2000g 37000g 6000本 30000T 900A 15000T 15000T 6000T 30000T 900A 30000T 6000T 10000T 200A 20000T 500A
抗てんかん剤						
抗精神病薬						

薬効別分類	小分類	一般名	規格	容量	商品名	備蓄量
口腔用剤		塩化デカリニウムトローチ	0.25mg		SPトローチ等	36000T
消化性潰瘍用剤	H2遮断剤	ファモチジン	20mg		ガスター錠等(OD錠含む)	40000T
PPI製剤	テプロン		50mg		タケブロン、オメプラール、パリエット等	30000T
			10%		セルベックスカプセル等	30000P
鎮痙剤		臭化ブチルスコポラミン	10mg		セルベックス細粒等	30000g
			20mg	1ml	ブスコパン注等	30000T
健胃消化剤	配合剤				ブスコパン注等	5000A
総合感冒剤 (小児用含)	鎮咳 抗ヒスタミン・解熱配合剤 (非ピリン系感冒剤)	ベシル酸アムロジピン	5mg		エクセラーゼ、ベリチーム等	30000T(P)
降圧剤	カルシウム拮抗剤	マレイン酸エナラブリル	5mg		タフマックE、ポリトーゼ等	90kg
ACE阻害剤	ARB	カンデサルタンセキセチル	4mg		ペレックス顆粒、小児用ペレックス顆粒	95kg
		バルサルタン	40mg		PL顆粒、幼児用PL顆粒等	
β -受容体遮断剤		塩酸プロプロノロール錠	10mg		ノルバスク錠等	30000T
利尿剤	フロセミド		40mg		レニベース錠等	30000T
			20mg		プロプレス錠	30000T
抗血栓用剤	抗血小板薬	硫酸クロピドグレル	25mg,75mg		ディオバシ錠(OD錠含)	30000T
	クマリン系薬	アスピリン及びその配合剤			レニデラル錠等	30000T
	ヘパリン	ワルファリンカリウム錠	1mg		ラシックス錠等	30000A
		ヘパリン注	10U/ml		ラシックス注等	40000T
			100U/ml		プラビックス錠	40000T
			1000U/ml		バイアスピリン錠、バファリン配合錠A81等	20000T
					ワーファリン錠	3000T
					ヘパリントナトリウム注等	2000V
SU剤	グリメピド	0.5mg,1mg			アマリール錠(OD錠を含む)等	10000T
DPP4阻害剤	リソ酸シタグリプチン	25mg,50mg,100mg			グラクタイプ錠、ジャヌビア錠	20000T
α グルコシターゼ阻害剤	インスリン製剤	インスリン注	100U/ml		ペイシン錠、セイブル錠(OD錠を含む)	30000T
心疾患用剤	不整脈用剤(内服)	アテノロール錠	25mg		ノボリソ、ヒューマリン、ランタス等	2000本
					テノーミン錠等	15000T
					メキシチールカプセル等	30000P
					リスモダン等	3000T
					ワソラン錠等	3000T
不整脈用剤(注射)	塩酸ベラ/ミル	5mg	2ml	ワソラン注等	250A	
血管拡張剤(内服)	硝酸イソソルビド錠	5mg		ニトロール錠等	3000T	
	ニフェジピンカプセル	10mg		アダラートカプセル、セバミットカプセル等	3000P	

薬効別分類	小分類	一般名	規格	容量	主な商品名	備蓄量
血管拡張剤(注射)	ニトログリセリン注		1mg	2ml	ミリスロール注等	20A
血管拡張剤(貼付)	ニコラジンジル注		2mg		シグマート注等	70V
血管拡張剤(その他)	硝酸イソルビド		40mg	枚	フランドルテープ等	15000枚
喘息治療剤	ニトログリセリン		0.3mg		ニトロペン舌下錠等	3000T
	塩酸プロカテロール		0.65%		ミオコールスプレー	20本
			0.05mg		メチレン錠等	15000T
			5μg/ml		メチレンシロップ等	50本
			2.5ml,5ml	枚	メチレンエナー	300本
テオフリチン葉	塩酸ソロプロロール		1mg,2mg		ホクナリンテープ等	15000枚
β2+ステロイド	テオフリシン錠		100mg		テオドール錠、テオロング錠等	30000T
ステロイド	β2+ステロイド吸入				アドエアディスカス、シムビコートタービュベイラー等	600個
	プレドニゾロン錠		5mg		プレドニシ錠等	3000T
	ステロイド吸入				キューバルエナジール、フルタドロタースタ、ハリコートターピュハイラー等	1800個
抗ヒスタミン剤 (小児用含)	α-マレイン酸クロルフェニラミン錠		2mg		ポララミン錠等	3000T
骨格筋弛緩剤	スマル酸クレマスチン		1mg		タベジール錠等	3000T
鎮暈薬	塩酸ジフェニドール錠		25mg		セファドール錠等	30000T
(注射)	塩化スキサメトニウム注			1ml,2ml,5ml	スキサメトニウム注等	300A
麻酔用筋弛緩剤	ロクロニウム異化物		20mg,50mg		エスラックス静注	500V
筋弛緩回復剤	スガマデクスナトリウム		200mg,500mg	2ml,5ml	ブリディオノン静注	150V
眼科用剤	オフロキサシン・レボフロキサン点眼剤				タリビット点眼、クラビット点眼等	1500本
呼吸促進剤	ジモルホラミン注				テラブチク注・静注	100A
ビタミン剤	ドギサプラム		400mg	20ml	ドプラム注	20V
	ビタミンB1注			10ml,20ml	アリナミンド注、ネオラミンスリービー注等	3000A
	ビタミンC注		100mg	1ml	アスコルビン酸注等	1500A
解毒剤	炭酸水素ナトリウム注		7%8.4%	20ml	メイロン静注等	3000A
	硝酸アトロピン注		7%8.4%	250ml		100A
	ヨウ化プラリドキシム		0.5mg	1ml	硝酸アトロピン注シリンジ	500A
			500mg	20ml	パム静注	200A

番号	ブロック	備蓄場所名称	備蓄場所所在地	電話
1	県 北	(株)潮田クラヤ三星堂日立支店	日立市滑川町 1-312	0294(22)2180
2		アルフレッサ(株)日立支店	日立市留町字前川 1270-59	0294(53)3221
3		山口東邦(株)日立営業所	日立市東金沢町 1-10-17	0294(36)7150
4		(株)スズケン日立支店	日立市日高町 1-6-16	0294(42)8001
5	県 中央	(株)メディセオ・バルタックホールディングス物流センター	水戸市杉崎 1586	029(259)6522
6		(株)潮田クラヤ三星堂水戸支店	水戸市大塚町 1852-4	029(251)5151
7		(株)アスカム水戸物流センター	水戸市笠原町 600-68	029(241)8990
8		アルフレッサ(株)水戸支店	水戸市千波町字久保 461	029(243)2911
9		山口東邦(株)水戸営業所	水戸市石川 2-4063-1	029(251)3311
10		(株)スズケン水戸支店	水戸市見川町 2131-115	029(244)1641
11	鹿 行	(株)アスカム鹿島営業所	鹿嶋市大字宮中 5257-10	0299(83)5211
12		(株)潮田クラヤ三星堂鹿島支店	神栖市堀割 1-1-6	0299(92)2931
13		山口東邦(株)鹿島営業所	潮来市新宮南 1516-4	0299(66)0753
14	県 南	(株)スズケン土浦支店	土浦市大字永国 632-3	029(823)8511
15		(株)潮田クラヤ三星堂土浦支店	土浦市真鍋 6-29-56	029(821)9051
16		山口東邦(株)	土浦市真鍋 2-2-27	029(822)0821
17		(株)アスカムつくば営業所	土浦市御町 2-4-12	029(843)1551
18		(株)潮田クラヤ三星堂取手支店	取手市野々井字前原 133-1	0297(78)5561
19		(株)潮田クラヤ三星堂つくば支店	つくば市西大井 1694-4	029(871)1210
20		アルフレッサ(株)取手支店	取手市戸頭 4-1-12	0297(78)3661
21		アルフレッサ(株)土浦支店	土浦市中字中道 834-3	029(841)2920
22	県 西	山口東邦(株)下館営業所	筑西市二木成 1243	0296(25)2524
23		(株)スズケン下館支店	筑西市茂田字畠屋敷 1703-3	0296(22)3111
24		アルフレッサ(株)下館支店	筑西市市野辺字前田 132-5	0296(24)5911
25		(株)アスカム下館営業所	筑西市布川 1203-1	0296(28)2655
26		(株)潮田クラヤ三星堂下館支店	筑西市向川澄 57	0296(57)3131
27		(株)潮田クラヤ三星堂古河支店	古河市坂間字北山 253	0280(48)2930

避難手順

(被害想定)

地震等の災害により原子力施設は被災したが、当病院の建物や院内設備には目立った被害は確認できなかった。今後、時間経過とともに、電気、ガス、水道等のライフライン喪失の可能性がある。

1. 避難準備

活動内容

- 【本部長】 災害対策本部を立ち上げ、各対策班に必要な指示を行う。
- 【副本部長】 本部長を補佐する。
- 【ライフライン班】 避難に備えて、避難時に支障となる障害物がないかどうか施設内を点検し、障害物があった場合は除去する。
- 【患者対策班】 入院患者等に状況を説明する。
- 【患者対策班】 複合災害の場合は、入院患者及び職員に救出、応急手当及び病院等への移送が必要とする者がいないか確認する。
- 【放射線管理班】 放射線量の調査並びに職員及び入院患者の被ばく量の評価を行い、状況に応じた処置及び指示を行う。

情報収集

- 【情報収集班】 複合災害の場合は、施設に関する被害状況を把握する。
- 【情報収集班】 テレビ、ラジオ、インターネット等により原子力事故に関する情報に留意して、継続的な情報収集を行う。
- 【情報収集班】 県、市役所ホームページ、防災行政無線、広報車、自治会等からの広報により、国、県、市の対応状況、施設がとるべき対応等の情報を収集する。
- 【総務班】 県、市役所の担当窓口に連絡し、今後の情報伝達方法を確認する。
- 【総務班】 収集した情報を本部長に伝達するとともに、職員全員に周知する。
- 【放射線管理班】 空間放射線量モニタリング調査並びに敷地及び建物内の放射線量の調査を行う。

職員参集

- 【非番職員】 自分や家族の安全を確認できた場合には、自主的に参集する。
- 【当直職員】 夜間や早朝の場合、緊急連絡網により、職員への参集要請を行う。なお、連絡の取れなかつた職員には、総務班が引き続いだ連絡を行う。

避難準備

- 【各対策班】 屋内退避または、避難指示が出された場合の担当業務を確認し、避難準備を開始する。

- 【総務班】 県、市役所の担当窓口に施設の対応状況を連絡し、今後の避難場所、避難経路、避難手段を確認する。
- 【物品調達班】 患者対策班と協力して入院患者の避難に必要となる資機材（移送用車両、車いす、ストレッチャー等）と人員を確認する。
- 【本部】 外来患者及び出入りする全ての者（見舞客、出入業者等）への退去等の判断を行う。

2. 屋内避難

活動内容

- 【本部】 屋内退避指示があった場合は、入院患者、職員等及び施設設備の安全が確認された時点で、各班を指揮して被ばくを低減する措置を講じる指示を行う。
- 【ライフライン班】 屋内に外気が入ってくるのを防ぐため、全てのドア、窓、カーテンを閉め、窓には目張りをするとともに、空調及び換気設備を停止させる。
- 【食糧供給班】 食品にフタ、ラップをして、冷蔵庫で保管する。飲料水は、密閉できる容器に入れて保管する。
- 【患者対策班】 入院患者等に状況を説明し、落ち着かせ、不安を和らげるとともに、経過を観察する。
- 【患者対策班】 入院患者を窓側から離し、施設の中央に待機させる。
- 【患者対策班】 外から入ってきた者は、顔や手をよく洗い、場合によってはシャワーをあびさせる。
- 【患者対策班】 外で着ていた服は、ビニール袋に入れて、しっかりと口を閉じる。
- 【放射線管理班】 放射線量の調査並びに職員及び入院患者の被ばく量の評価を行い、状況に応じた処置及び指示を行う。

情報収集

- 【情報収集班】 テレビ、ラジオ、インターネット等により原子力事故に関する情報に留意して、継続的な情報収集を行う。
- 【情報収集班】 県、市役所ホームページ、防災行政無線、広報車、自治会等からの広報により、国、県、市の対応状況、施設がとるべき対応等の情報を収集する。
- 【総務班】 県、市役所の担当窓口に連絡し、今後の情報伝達方法を確認する。
- 【総務班】 収集した情報を本部長に伝達するとともに、職員全員に周知する。
- 【放射線管理班】 空間放射線量モニタリング調査並びに敷地及び建物内の放射線量の調査を行う。

家族への連絡

【患者庶務班】 災害用伝言ダイヤルサービスなど事前に確認している連絡方法により、入院患者の家族に入院患者情報及び施設の状況を伝える。

避難準備

【総務班】 避難先施設に連絡し、避難受入について確認する。

【患者対策班】 搬送が困難な患者と、避難可能な患者を分けるなどして、効率的な避難手段を確認する。

【物品調達班】 患者対策班と協力して入院患者の避難に必要となる資機材（移送用車両、車いす、ストレッチャー等）と人員を確認する。

【総務班】 不足する移送用車両について、県に支援を要請する。

【患者対策班】 本部長の指示に従い、患者の避難準備を行う。

【各対策班】 速やかに避難ができるよう、役割分担表に定められている項目について、準備点検を行う。

3. 避難

活動内容

【本部長】 各対策班に、状況に応じた的確な指示を行い、入院患者の混乱を防止する。

【総務班】 定められた避難先、避難経路及び避難手段の状況を確認する。

【患者対策班】 早期退院が可能な入院患者は、退院を勧告し、家族に引き継ぐ。

【患者対策班】 入院患者を家族が勝手に連れ帰ることがないよう、職員立会のもと入院患者や引受者の氏名、引継時刻を記録し、総務班に報告する。

【総務班】 家族に引き継いだ入院患者情報等を、市役所災害対策本部及び県保健福祉部担当課に対し報告する。

【患者対策班】 入院患者に状況を説明し、落ち着かせてから、避難車両の準備ができた段階で、入院患者を避難先施設まで避難させる。

【総務班】 避難先病院に出発予定時刻、到着予定時刻等を連絡する。

【患者対策班】 避難車両に同乗して避難中の入院患者のケアを行う。

【患者対策班】 入院患者及び職員は、避難所への移動中はマスク及び外衣を着用する。

【物品調達班】 携行品、非常用持出品を確保し、避難車両に積み込む。また、避難先病院で使用する物資、資機材等の搬送を行う。

【ライフライン班】 敷地内の火気等の消火、電灯等の消灯を確認し、窓等を閉めて施錠する。

【交通整理班】 救急車及び避難車両の整理誘導及び駐車場の整理誘導を行う。（屋内退避時を除く）

【放射線管理班】 放射線量の調査並びに職員及び入院患者の被ばく量の評価を行い、状況に応じた処置及び指示を行う。

情報収集

- 【情報種集班】 テレビ、ラジオ、インターネット等により原子力事故に関する情報に留意して、継続的な情報収集を行う。
- 【情報収集班】 県、市役所ホームページ、防災行政無線、広報車、自治会等からの広報により、国、県、市の対応状況、施設がとるべき対応等の情報を収集する。
- 【総務班】 県、市役所の担当窓口に連絡し、今後の情報伝達方法を確認する。
- 【総務班】 収集した情報を本部長に伝達するとともに、職員全員に周知する。
- 【放射線管理班】 空間放射線量モニタリング調査並びに敷地及び建物内の放射線量の調査を行う。

家族等への連絡

- 【患者庶務班】 入院患者の家族に入院患者情報及び避難先、避難開始時刻、到着予定時刻を伝える。
- 【総務班】 県保健福祉部担当課に、避難先及び避難完了時刻を連絡する。
- 【総務班】 避難において入院患者の健康状態に変化があった場合には、速やかに患者庶務班と連携し、入院患者の家族及び県保健福祉部担当者に連絡する。

退院可能な入院患者の家族引継方法

1. 避難準備

活動内容

【本 部 長】 入院患者の状態を把握し、早期退院勧奨の指示を行う。

【患 者 対 策 班】 入院患者に現在の状況を説明し、早期退院が可能な入院患者については、退院を勧奨する。

家族への連絡

【患 者 庶 務 班】 災害伝言ダイヤルサービスなど入院時に確認した緊急連絡方法により、入院患者の家族に入院患者情報及び施設の状況を伝える。

【患 者 庶 務 班】 家族に対し、退院の勧奨を行い、迎え等の引き受けが可能か確認を行う。

避難準備

【物 品 調 達 班】 入院患者の家族への引き継ぎに必要となる資機材（車いす等）と人員を確認する。

【患 者 対 策 班】 速やかに家族への引き継ぎができるよう、所持品等の確認などの準備を行う。

2. 屋内退避

活動内容

【本 部】 屋内退避指示があった場合は、入院患者、職員等及び施設設備の安全が確認された時点で、各班を指揮して被ばくを低減する措置を講じる指示を行う。

【患 者 対 策 班】 入院患者等に状況を説明し、落ち着かせ、不安を和らげるとともに、経過を観察する。

【患 者 対 策 班】 入院患者を窓側から離し、施設の中央に待機させ、家族への引き継ぎ作業を中断する。

情報収集

【情 報 種 集 班】 テレビ、ラジオ、インターネット等により原子力事故に関する情報に留意して、継続的な情報収集を行う。

【情 報 収 集 班】 県、市役所ホームページ、防災行政無線、広報車、自治会等からの広報により、国、県、市の対応状況、施設がとるべき対応等の情報を収集する。

【総 务 班】 県、市役所の担当窓口に連絡し、今後の情報伝達方法を確認する。

【情 報 収 集 班】 収集した情報を本部長に伝達するとともに、職員全員に周知する。

3. 避難

活動内容

【本 部】 各対策班に、状況に応じた的確な指示を行い、入院患者の混乱を防止する。

【患 者 対 策 班】 早期退院が可能な入院患者は、退院を勧告し、家族に引き継ぐ。

【患 者 対 策 班】 入院患者を家族が勝手に連れ帰ることがないよう、職員立会のもと入院患者や引受者の氏名、引継時刻を記録し、総務班に報告する。

【総 務 班】 家族に引き継いだ入院患者情報等を、市役所災害対策本部及び県保健福祉部担当課に対し報告する。

別表 5-3

少人数体制時の初動対応

平日昼間

1 出勤者数

医師	163人	看護師	287人	薬剤師	34人	コメディカル	121人
事務	47人	警備員	3人	エネセン	6人	合計	661人

2 初動対応

- 1) 災害対策本部長が責任者となり、災害対策本部の設置の指示を行う。
- 2) 災害対策本部長が不在の場合は、副本部長が次の順位により本部長を代理する。
 - ① 小島副院長
 - ② 鎌木副院長
 - ③ 山本副院長
 - ④ 高橋副院長
- 3) 本部長が登院したときは、それまでの経過を引き継ぐ。
- 4) 本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときは、2)と同様に本部長を代理する。

平日夜間

1 出勤者数

医師	7人	看護師	50人	薬剤師	1人	コメディカル	3人
事務	0人	警備員	3人	エネセン	2人	合計	66人

2 初動対応

- 1) 日当直長（医師）、日当直師長、その他の日当直勤務者（薬剤科、臨床検査技術科、放射線技術科）により、救急センターに暫定災害対策本部を設置する。
- 2) 参集した職員のうち、最上位の職にある者が責任者となり、指示を行う。
- 3) 災害対策本部長が登院したときは、本部長が責任者となり災害対策本部の設置の指示を行う。
- 4) 暫定災害対策本部の責任者は、本部長に対し、それまでの経過を引き継ぐ。
- 5) 災害対策本部長が不在の場合は、副本部長が次の順位により本部長を代理する。
 - ① 小島副院長
 - ② 鎌木副院長
 - ③ 山本副院長
 - ④ 高橋副院長
- 6) 本部長が登院したときは、それまでの経過を引き継ぐ。
- 7) 本部長に事故があるとき、又は本部長が欠けたときは、5)と同様に本部長を代理する。

休日昼間

1 出勤者数

医師	7人	看護師	95人	薬剤師	2人	コメディカル	4人
事務	1人	警備員	3人	エネセン	2人	合計	114人

2 初動対応

平日夜間の初動対応に準ずる。

休日夜間

1 出勤者数

医師	7人	看護師	50人	薬剤師	1人	コメディカル	3人
事務	0人	警備員	3人	エネセン	2人	合計	66人

2 初動対応

平日夜間の初動対応に準ずる。

緊急時参集要員の確認

※災害発生時に全職員が在宅していると仮定した場合の参集人数を想定する。

※警備員及びエネセン職員については、通勤距離を把握していないため除外する。

1 災害発生から1時間後 (3km以内 徒歩と想定)

医師	75人	看護師	119人	薬剤師	7人	コメディカル	24人
事務	9人	合計	234人				

2 災害発生から2時間後 (12km以内 車で通常の4倍程度の時間を要すると想定)

医師	20人	看護師	167人	薬剤師	10人	コメディカル	25人
事務	6人	合計	228人				

計

医師	95人	看護師	286人	薬剤師	17人	コメディカル	49人
事務	15人	合計	462人				

3 災害発生から3時間後 (18km以内 同上の想定)

医師	10人	看護師	87人	薬剤師	5人	コメディカル	21人
事務	11人	合計	134人				

計

医師	105人	看護師	373人	薬剤師	22人	コメディカル	70人
事務	26人	合計	596人				

4 災害発生から4時間後 (24km以内 同上の想定)

医師	5人	看護師	70人	薬剤師	1人	コメディカル	16人
事務	4人	合計	96人				

計

医師	110人	看護師	443人	薬剤師	23人	コメディカル	86人
事務	30人	合計	692人				

5 災害発生から5時間後 (30km以内 同上と想定)

医師	5人	看護師	45人	薬剤師	3人	コメディカル	11人
事務	9人	合計	73人				
計							
医師	115人	看護師	488人	薬剤師	26人	コメディカル	97人
事務	39人	合計	765人				
6 災害発生から6時間後 (3.6km以内 同上と想定)							
医師	1人	看護師	15人	薬剤師	1人	コメディカル	10人
事務	1人	合計	28人				
計							
医師	116人	看護師	503人	薬剤師	27人	コメディカル	107人
事務	40人	合計	793人				
7 災害発生から12時間後 (7.2km以内 同上と想定)							
医師	47人	看護師	23人	薬剤師	8人	コメディカル	17人
事務	5人	合計	100人				
計							
医師	163人	看護師	526人	薬剤師	35人	コメディカル	124人
事務	45人	合計	893人				
8 参集不可 (7.2kmを超える)							
医師	一人	看護師	一人	薬剤師	一人	コメディカル	一人
事務	2人	合計	2人				
9 合計							
医師	163人	看護師	526人	薬剤師	35人	コメディカル	124人
事務	47人	合計	895人				

情報収集・伝達手段

- 1 行政機関や避難先病院等との情報伝達・伝達手段
 - ①固定電話 (NTT) ②災害対策本部用携帯電話 ③防災情報ネットワーク防災電話
 - ④w e b メール ⑤衛星電話
- 2 施設内での情報伝達方法
 - ①院内放送 ②院内P H S ③院内L A Nメール ⑤掲示板 (ホワイトボード)
 - ⑥印刷物による配布
- 3 時間帯に応じた確実な情報伝達方法及び伝達手段
 - ①中央病院ホームページのお知らせに参集指示情報等を掲載 ②緊急連絡表を活用した個人の携帯電話への連絡 ③Gメールを活用した幹部職員へのメール送信

4 入院患者の家族等への連絡方法

- ①災害伝言ダイヤルサービスや携帯電話等入院時に確認した緊急連絡方法による。
- ②輻湊による通信困難を回避するため、入院患者家族からの連絡を見合わせるよう入院時に説明する。

時間別の状況想定

項目	担当	発災 ～1時間	発災直後 1時間～3時間	発災直後 3時間～6時間	6時間～12時間	当日中	2日目	3日目	1週間程度	フェーズ1 超急性期	フェーズ2 急性期	フェーズ3 亜急性期
災害対策本部立ち上げ 職員参集状況確認 職員への連絡・所在確認 衛星電話・防災電話運用	総務班 総務班 総務班 総務班											1ヶ月程度まで
一般外來診療の継続の是非 一般外來診療の帰宅の是非 実施中の手術の中止の是非 予定手術の中止の是非 避難先、避難順序、避難経路の決定	災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部 災害対策本部											
原生力事故等の情報収集 共用施設、医局に係る被害状況の確認 電子カルテ停止時の復旧 被害状況及び記録写真の撮影	情報収集班 情報収集班 情報収集班 情報収集班											
入院患者のリスト作成 入院患者避難先選定 入院患者の家族への連絡	患者庶務班 患者庶務班 患者庶務班											
施設被害状況確認 施設内の障害物点検及び除去 医療ガス・ボイラー・エレベーター点検 医療ガス・ボイラー・エレベーター復旧作業 医療ガス・燃料等の残量確認 外気の遮断 空調及び換気設備の停止 火の元確認 薬剤・衛生材料・消耗品等の調達 燃料(重油・ガソリン)等の調達	ライフライン班 ライフライン班 ライフライン班 ライフライン班 ライフライン班 ライフライン班 ライフライン班 ライフライン班 物品調達班 物品調達班											

時間別の状況想定

項目	担当	発災直後			フェーズ1 超急性期			フェーズ2 急性期			フェーズ3 亜急性期		
		発災 ～1時間	1時間 ～3時間	3時間 ～6時間	6時間 ～12時間	当日中	2日目	3日目	1週間程度				
避難先への物資の輸送	物品調達班												1ヶ月程度まで
食糧、飲料水の調達	物品調達班												
備蓄食糧の配布	食糧供給班												
入院患者の安全確認	患者対策班												
受傷職員及び入院患者の応急手当	患者対策班												
入院患者の家族への避難準備	患者対策班												
避難患者の安全確認	患者対策班												
外来患者への情報伝達	患者対策班												
外来患者の帰宅誘導	患者対策班												
空間放射線量モニタリング	放射線管理班												
職員の被ばく線量の評価	放射線管理班												
入院患者の被ばく線量の評価	放射線管理班												
敷地及び建物内の放射線量の調査	放射線管理班												
立入禁止区域の設定	放射線管理班												
養生等の指示及び指導	放射線管理班												
外来患者の被ばく量のトリアージ及び除染(隔離)	放射線管理班												
屋内避難指示後	患者対策班												
・入院患者を施設中央に待機	患者対策班												
避難指示後													
・避難先・避難経路・避難手段の確認	総務班												
・早期退院勧告	患者対策班												
・退院患者の家族への引き継ぎ	物品調達班												
・携行品、非常用持出品の確認													

時間別の状況想定

項目	担当	発災直後			フェーズ1 超急性期			フェーズ2 急性期			フェーズ3 亜急性期		
		発災 ~1時間	1時間 ~3時間	3時間 ~6時間	6時間 ~12時間	当日中	2日目	3日目	1週間程度				
携行品、非常用持出品の積み込み	物品調達班												
火気等の消火、電灯等の消灯	ライフライン班												
施設の施錠	ライフライン班												
救急車及び避難車両の誘導	交通整理班												
駐車場の整理	交通整理班												
避難中の入院患者のケア	患者対策班												
避難中の放射線の測定	放射線管理班												

職員参集記録票

発災日時： 年 月 日 時 分

災害対策班名： 班

No	職種	所属(課・科等)	氏名	参集時間	参集手段	所要時間	自宅の状況
1				月 日 時 分			
2				月 日 時 分			
3				月 日 時 分			
4				月 日 時 分			
5				月 日 時 分			
6				月 日 時 分			
7				月 日 時 分			
8				月 日 時 分			
9				月 日 時 分			
10				月 日 時 分			
11				月 日 時 分			
12				月 日 時 分			
13				月 日 時 分			
14				月 日 時 分			
15				月 日 時 分			
16				月 日 時 分			
17				月 日 時 分			
18				月 日 時 分			
19				月 日 時 分			
20				月 日 時 分			
21				月 日 時 分			
22				月 日 時 分			
23				月 日 時 分			
24				月 日 時 分			
25				月 日 時 分			
26				月 日 時 分			
27				月 日 時 分			
28				月 日 時 分			
29				月 日 時 分			
30				月 日 時 分			
31				月 日 時 分			
32				月 日 時 分			
33				月 日 時 分			
34				月 日 時 分			
35				月 日 時 分			

搬送時本人確認カード

病院名		病棟		担当医	
入院者	フリガナ		生年月日	年 月 日生	
	氏 名		年 齢		
			性 別	男 · 女	
			血 液 型	型	
			病 名		
本人の状態					
特記事項					
連絡先①	フリガナ		自宅電話	— —	
	氏 名	(続柄)		緊急連絡先	
連絡先②	フリガナ		自宅電話	— —	
	氏 名	(続柄)		緊急連絡先	
連絡先③	フリガナ		自宅電話	— —	
	氏 名	(続柄)		緊急連絡先	
引継日時		年 月 日	午前・午後	時	分
引受者	フリガナ		確認者	所 属	
	氏 名	(続柄)		職氏名	

※電子カルテ等で同等の情報が出力できる場合は、既存帳票による代用でも結構です。

カードの項目は必ずしも必須ではありません。プライバシーに十分に配慮して記載してください。